

CNA Report

News & Analysis Focusing On Audio/Video/Data Collaborative Conferencing Market

Independent & Unbiased Perspective Since December, 1999

電話会議・テレビ会議・データ会議(Web会議)専門ニュースレター

Vol 5. No. 9 2003年5月15日号 毎月15日・月末発行 創刊1999年12月8日

発行人/編集人: 橋本啓介 (Keisuke Hashimoto) kay@hkeis.jp Copyright 2003 ケイ・オフィス All rights reserved.

ニュースダイジェスト

■ソニー、コンパクトタイプのテレビ会議、PCS-1 発売



ソニーマーケティング株式会社(東京都品川区)は、6月1日よりロケーション・フリーのコンセプトから開発

された新しいコンパクト高機能タイプのテレビ会議「PCS-1」を発売する。ソニーは、5月15日、16日に東京都内で開催されたソニー・ビジネス・ソリューション 2003 で同製品を展示。同製品は海外でも販売する。

PCS-1 はパソコンデータを XGA 解像度で共有できるデータシェアリング機能、コクヨの Mimio をサポートしたデジタルホワイトボード機能、ネットワークの混み具合に応じて自動的に通信帯域を増減させる自動レート制御機能、最大10地点との同時会議やデュアルモニター機能などサポートしているが、機能によってはオプションを追加する必要がある。またメモリーステックのスロットも搭載。

PCS-1 は、カメラ部と本体部を分離させて設置、使用できる小型軽量(カメラ部と本体部合計 2.4kg)で、省スペース設置が可能。特定の場所に常時固定して利用するだけでなく、ミーティングスペース、デスク、ワーキングスペース

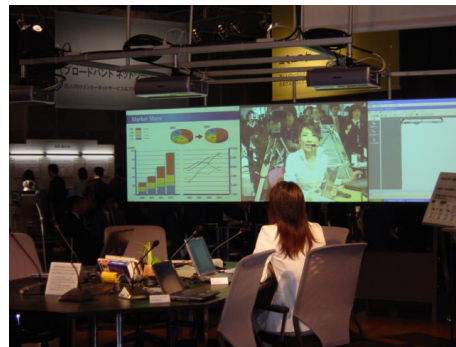
など場所を選ばない。それぞれのサイズからして少し大きめのビジネスバックにも入る感じで、ポータブル性に非常に優れている。

通信方式は、国際標準の H.320、323 をサポート、映像コーデックは、H.261 や 263++ などに加え MPEG4 (V.1.1

より7月以降対応)に対応。

また操作画面としては GUI を採用、既存のソニーテレビ会議のユーザーはもとより、新たなユーザーでもわかりやすいシンプルさわかりやすさを追求したユーザーインターフェイス。また、取扱説明書もユーザーと管理者と分けて分かりやすく作成されているという。

希望小売価格(税別)は、698,000 円。ガラスタイプやピラータイプのカメラスタンドが別売のオプションもある。



ソニー・ビジネス・ソリューション 2003 (写真左: PCS-1 デモ中) では、ソニーマーケティング自身の IP テ

レビ会議導入事例をテーマとしたセミナーセッションも行われたが、遠隔講義向けの MPEG2 コーデックである MSB-2000 や、IP 遠隔監視ソリューションではネットワークカメラ SNC-RZ30N など、またアライアンス系では、ラドビジョン社の MCU やゲートウェイ機能を搭載できる VialIP100、400、そしてパケットピア社の帯域制御 PacketShaper など展示されていた。

今後、名古屋や大阪でも開催されるようだ。

<http://www.sony.jp>

■ポリコム日本法人、新社長に奥田智巳氏就任

ポリコム株式会社(東京都港区)は、5月2日付けで同日本地区担当ディレクター代理奥田智巳氏をポリコム日本法人の総責任者に昇任した。奥田氏は、法的作業が完了の後、代表取締役社長に就任。同氏は、2000年4月よりセールス・マーケティング・マネージャーとして、マーケティング

や販売分野を担当し、昨年 10 月以来同社日本地区担当ディレクター代理に就任、経営全般もみてきたがこの度正式に総責任者、代表取締役として陣頭指揮をとることになった。

ポリコム社全体の売り上げのうち約7%が日本市場での売り上げ(CNA リポート推計:2002 年売上ベースで計算。日本市場分が約 40 億円、アジア太平洋地区内では日本市場の貢献は 39%を占めると推測される。以下業績発表地域別売上グラフ参照。)という。今後は製品をローカライズするだけでなく、日本発の製品の登場も期待できそうで、今まで以上にローカル市場に根ざした活動展開を行っていくという。

奥田智巳氏、1965 年東京都出身。慶応大学卒。住友スリーエムを経てポリコムに 2000 年 4 月に入社。

<http://www.polycom.co.jp>

■タンバーク社、ブリーフケース型テレビ会議 TANDBERG タクティカル 2500/6000 を発表



ノルウエーのタンバーク社は、ブリーフケース型テレビ会議 TANDBERG タクティカル 2500/6000 を発表した。ブリーフケースは、強化型アルミニウム材で出来

ており、ベルトをつけると肩にかけて運ぶこともできるが重量は 18kg ほど。タクティカル 2500/6000 は、それぞれ TANDBERG2500 と TANDBERG6000 のコーデック技術をコアとして使っている。

基本構成としては、15.1 インチの LCD モニター、マイク、スピーカー、リモコン、ヘッドセットであるが、2500 は、ISDNは、384kbps(6000は2Mbps)、IPは768kbps(6000は、3Mbps)までサポート。専用線、衛星回線(INMARSAT

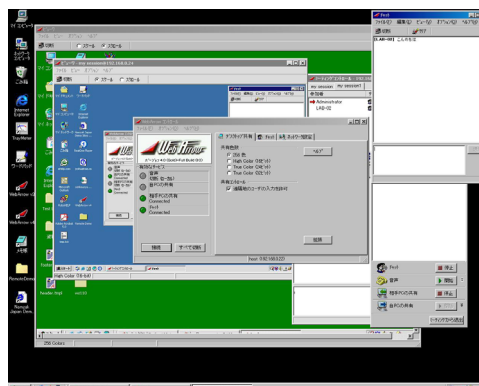
や VSAT)などさまざまなネットワークに対応し、AES や DES のセキュリティ機能、PC プレゼンテーション機能、自動ダウンスピーディング機能などをサポートしている。米国防省(DOD)セキュア・ネットワークにも対応。

軍用や災害対応、緊急医療などの、初期稼働段階や過酷な現場環境で十分活用できる製品と同社ではコメントを出している。

販売は北米と限られた地区での販売を予定しており、ヨーロッパ、日本を含むアジア地区での販売は現在のところ未定とのこと。

<http://www.tandbergjapan.com>

■ナムザック・ジャパン、ウェブ会議で N 対 M 対応



ソフト開発の株式会社ナムザック・ジャパン(東京都千代田区)は、インターネット会議システム「WebArrow」を開発、国内大手販売代理店などと提携し、同社のシステムを 2003 年 3 月より販売しているが、複数台の PC 同士で、音声・チャット・デスクトップの共有が可能な N 対 M のウェブ会議システムを開発した。

「WebArrow」は、インターネット上で、パワーポイントなどの PC データやデスクトップ画面などさまざまなアプリケーションを共有しながら、VoIP で会議ができるシステム。音声は GSM を採用し、低速回線でもクリアで切れない音声クオリティを実現したという。またビジネス環境で重視されるセキュリティも暗号化技術により可能。音声・画像のサービスドライバーは自動的にダウンロードされるため、改めてユーザー PC にソフトをインストールする必要はない。

用途としては、インターネット上での会議ではあるが、コールセンターやサポートセンターなど CRM 系も意識したシ

システムとなっている。たとえば、サポートセンターのオペレーターと顧客が画面と画像などを共有しながら、音声による直接対話を行っている状況で、サポートセンターの管理者がそのオペレーターの対応状況をリアルタイムで把握するということが可能という。

今後の開発としては、会議録画機能の付加やPDAや3G携帯などのサポートも視野にあるという。

「WebArrow」は、カナダのナムザックラブスが開発。ナムザックラブスは、米カーネギーメロン大学ソフトウェア研究所のリック カズマン教授が最高経営責任者を務めるベンチャー。同氏は、ナムザック・ジャパンの非常任取締役も務めている。

<http://www.namzak.co.jp>

■タイトー、PC ウェブベースのテレビ会議 ASP サービスを開始

ゲームソフトメーカーの株式会社タイトー（東京都千代田区）が、「Deskussion」と呼ばれる、インターネットブラウザで特定の URL を開くだけで利用できるテレビ会議システム ASP サービスを発表した。

このシステムは、PC にカメラとマイクをつけるだけで利用できるもので、株式会社ブロードティヴィー（兵庫県神戸市）が開発したインターネット会議システムを、タイトーの ASP サービス仕様としてカスタマイズを行った。このサービスは、同時利用者数のライセンス方式を採用。1ヶ月の標準的なコストは、113,000 円。（初期費用のぞく、同時利用者数10ライセンス取得した場合）

機能としては、会議室予約機能を使い日時、会議内容、参加者名などの情報を参加者に事前にメールで周知する。また、パワーポイント、ワード、エクセルなどの PC ファイルやウェブブラウザを参加者間で共有、マーキングすることが可能。さらに、テキストチャット機能、ログインメンバー機能、インスタントメッセージ機能、個別ミーティング機能、主催者権限以降機能などがある。参加人数により 10 名、4 名用のウィンドウにて会議室が作成。

サービス開始は、5 月 1 日。1 利用ライセンスにつき、1 ヶ月 9,800 円。初期費用は、120,000 円、サーバー管理費 15,000 円（1 法人）。

<http://www.deskussion.com/>

■セントラ社、Centra 7 を発表

米セントラ社は、同社の 1000 以上の顧客からのフィードバックを元に Centra 7 を開発した。開発に1年間かかったと言う。販売は 6 月から全世界を対象とする。

特長としては、マイクロソフトのオフィス、インスタントメッセージングやカレンダー機能などのデスクトップアプリケーションとのシームレスな統合を図り、さまざまな部署—営業、マーケティングなどの部署でのバーチャルチーム活動プロセスに対応したソリューション機能の向上、さらに、エンタープライズレベルのスケラビリティ、セキュリティ、パフォーマンス、信頼性をサポートできる先進化したシステム・アーキテクチャーなどがある。

デスクトップ環境では、ウインドウズのタスクバーからワンクリックで Centra 7 のオンラインセッションに参加したり、メールやカレンダー・インビテーション、あるいはインスタントメッセージングによる通知、またはオフィスの作業環境から簡単に協働作業に移ったりということができる。

Centra 7 は 2003 年 6 月より全世界で販売開始の予定。
<http://www.centra.com>

■エゼニア！、米ナスダック市場から上場廃止通告

米エゼニア！社は、米ナスダック市場から上場を維持するための条件に適合していないとして上場廃止通知を米ナスダック市場から受けたとのプレスリリースを発表した。同社では廃止通告に対して不服を申し立てる予定。

また、同社では、新しいボードメンバーと監査役を任命する予定。

<http://www.ezenia.com>

■KMV テクノロジーズ社、1800 万 USD の資金調達

クレイグ マロイ氏など元ポリコム社員が、次世代のテレビ会議システムを開発する目的で 2003 年 1 月に米 KMV テクノロジーズ社を創立した。オースチンベンチャーズ社、ノースウエストベンチャーパートナーズ社、レッドポイントベンチャーズ社などのベンチャーキャピタルから 1800 万 USD（約 20 億円）の資金調達を行うことで合意した。

クレイグ マロイ氏は、ポリコム社が 1998 年に買収した

ピア・ビデオ社の CEO 兼創業者。KVM の略は、Kenoyer Malloy Video。米テレスパン・パブリッシング社(2003年5月19日号ニュースレター<http://www.telespan.com>)によると、ピアビデオ社に関わった人達が中心になって設立した模様。ハードウェアタイプの IP テレビ会議か、PC ソフトウェアベースのものあたりの開発を行うのではないかとの見方があるようだ。

また、ノースウエストベンチャーパートナーズ社は、NTT コミュニケーションズ社が買収した米ベリオ社にも資金提供等した実績がある。

<http://www.kmvtechnologies.com>

<広告> NAT/ファイヤーウォールのソリューション

IP freedom™

トーマンサイバービジネス株式会社
<http://www.tomen-g.co.jp>



<広告>

イスラエル VCON のテレビ会議製品情報(日本語): 日本地方自治体等導入実績あり、PC タイプのテレビ会議システムからセフトップタイプのものから MXM メディアエクステンジサーバー、開発ツールキットなど幅広いニーズに対応。テレビ会議メーカー、大手 5 社に入る。

詳細上 VCON イメージをクリック!

<広告>



イタリア・アエストラ社テレビ会議(左 VEGA PRO, 右 SUPERNOVA)テレビ会議エントリーレベルからハイエンド、またアフガニスタンでの取材で活用された実績のあるスーツケース形ポータブルテレビ電話や音声会議端末など幅広く取り扱っています。ヨーロッパの宇宙関連機関である ESA でも導入され、過去 10 年で 60 カ国に 11 万台テレビ会議を販売している

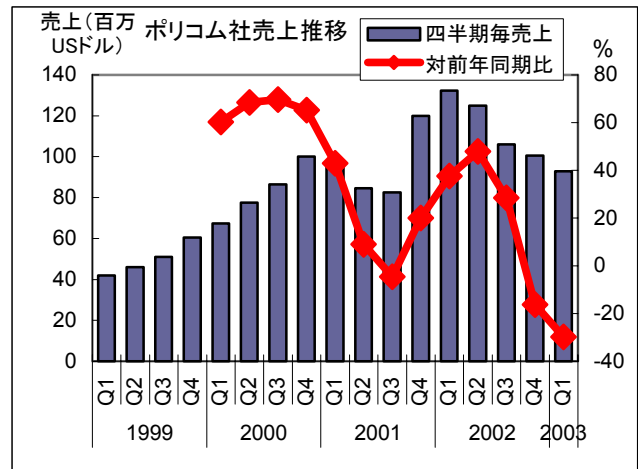
実績があります。VEGA PRO は 2000USD からのエントリーモデル。
詳細は、写真をクリック

業績発表 Part I

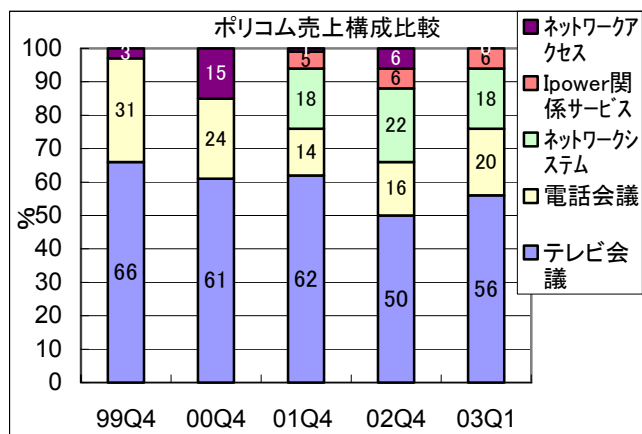
ポリコム社、タンバーク社、ブイコン社、ラドビジョン社各社とも第一四半期(2003年1月-3月)は対前年同期比でマイナスを記録、ポリコム社は、潤沢な現預金残高でキャッシュフローもプラスだが当期では損失を計上、またタンバーク社も、右肩上がりの成長にブレーキがかかったが利益は確保。ブイコン社は厳しい四半期が続くがコスト管理と損益分岐点を下げることに経営努力中、ラドビジョン社は、特別利益で営業損失をカバーしなんとか当期利益を確保。

各社、厳しい国際政治経済の環境などが原因と分析している。

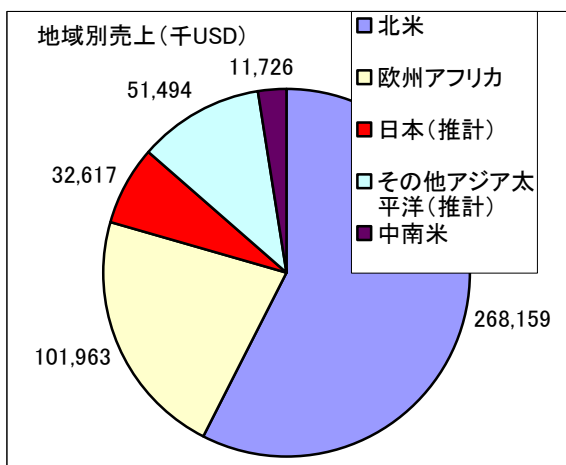
■ポリコム社



米ポリコム社が発表した第一四半期(2003年1月-3月)の業績は、収益ベースで、9290万USD(約107億7千万円)を計上したが、前年同期比では、29.8%減(前年同期: 1億3230万USD(約153億円))となった。今四半期はGAAP(一般会計原則)ベースで、240万USD(約2億7800万円)の損失を計上したが、20期連続でキャッシュフローはプラスで推移してきており、(次頁へ続く)



今期だけでも1000万USD(約11億6千万円)のプラスで、現金・預金等流動資産残高は5億1300万USD(約595億円)で無借金経営を維持。



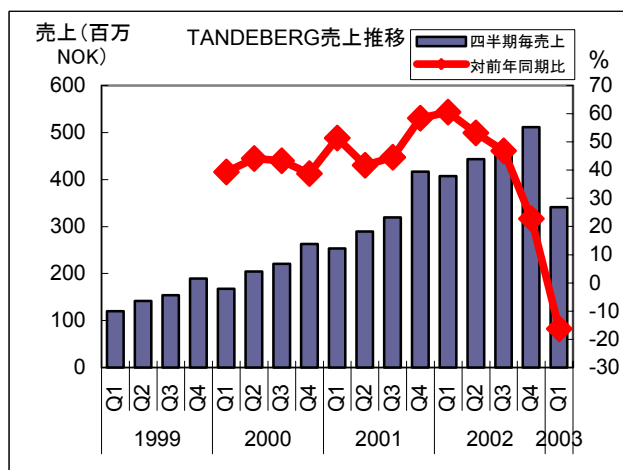
同社 CEO によると、「今期の業績には失望したが、マーケットシェアを向上させた面もあった。」との見方を示しつつも、景気、経済の悪化による業績への影響にも言及した。しかし、同社 CFO はキャッシュフローがプラスで推移していることを示し、同社経営の健全性をPRしたコメントをだしている。

<http://www.polycom.co.jp>

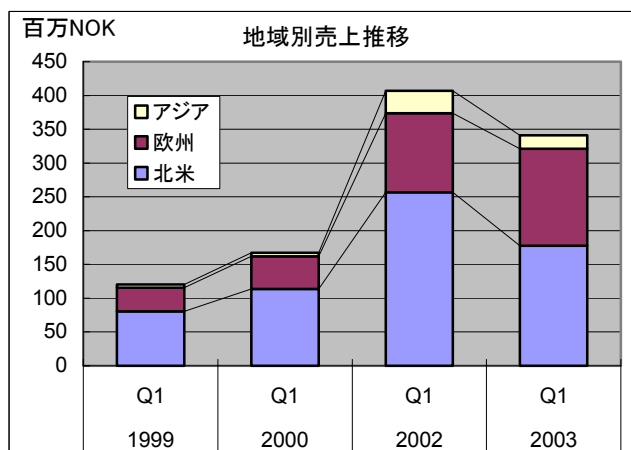
* 地域別売上グラフ:ポリコム社年次レポート2002を元にCNAレポートで作成。アジア、日本は推計。

■タンバーク社

ノルウェーのタンバーク社が計上した第一四半期(2003年1月-3月)は、3億4100万NOK(約58億3100万円)。



税引き前利益は、8770万NOK(約15億円)で、現預金資産残高は、14億570万NOK(約240億円)、財務健全性の指標である自己資本比率は、85.6%(2003年3月31日現在)。



地域ごとの収益については、北米とアジアにおいて減速傾向を示したが、逆に欧州では、増大した。ただ、その収益増は全体を底上げするほどのものではなく、北米での減速が全体の足を引っ張った形になった。

今期の北米市場では、1億7740万NOK(約30億3千万円)を計上、約全体収益の52%を占めたが、前年同期の2億5680万NOK(約43億9100万円)から減益。アジア市場は、前年同期の3330万NOK(約5億7千万円)から、2000万NOK(約3億4200万円)への減益となった。

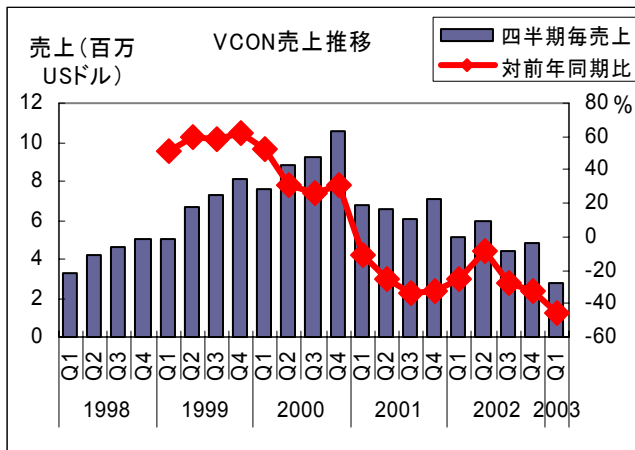
翻って欧州では、増益となり、前年同期の1億1700万NOK(約20億円)から1億4360万NOK(約24億5500万円)。アジア市場は、全体収益の5.9%、欧州市場は、42.1%となっている。

当期では、全世界で 4069 台出荷した模様。昨年と同期の 3960 台から台数ベースでは伸びた。

減速感は、導入決定までの期間の長期化、景気の低迷による購入、買い換えなどを手控えていることなどに起因していると同社では見ているようだ。

<http://www.tandbergjapan.com>

■ブイコン(VCON)社



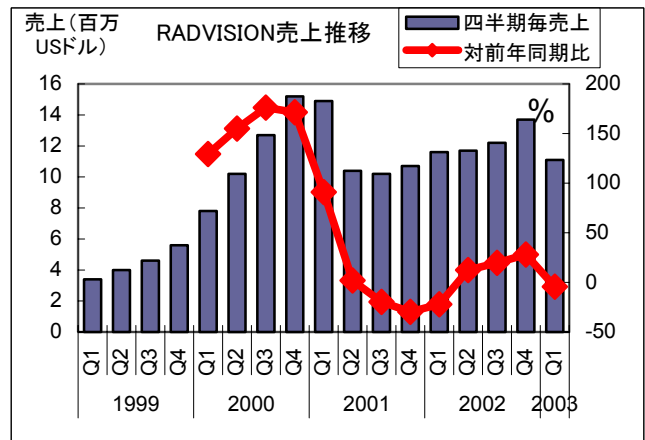
イスラエルの VCON 社の第一四半期(2003 年 1 月-3 月)の収益は、280 万 USD(約 3 億 2400 万円)を計上。前年同期の 510 万 USD(約 5 億 9 千万円)から 45%の減益となった。また、損失も前年同期の 80 万 USD(約 9200 万円)から 220 万 USD(約 2 億 5500 万円)へと拡大した。

同社 CEO は、「第一四半期をチャレンジングな四半期。」と見ており、昨今の国際政治経済の不安定化によっていくつかの有望なビジネスにストップをかけた状態だとコメントしている。

また、財務担当副社長は、「第一四半期の結果は我々の目標値には届かなかった。第一四半期に予定していた売上げが延期されことになった。」と現状を説明。ただ、開発は続けて行きながらも、コスト管理や損益分岐点を低くさせていくという経営努力に注力していくとも述べている。

<http://www.vcon.com>

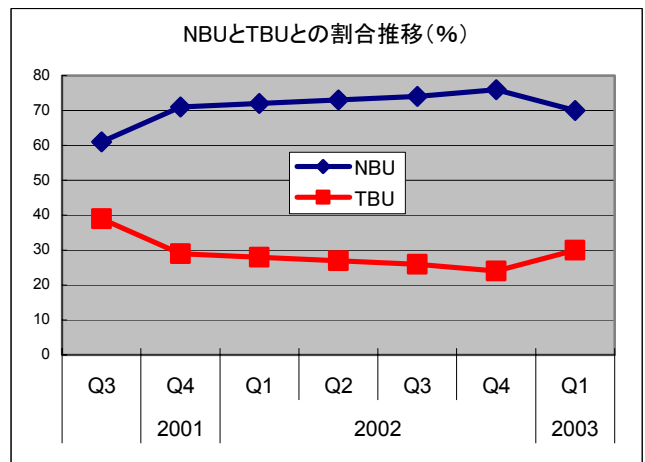
■ラドビジョン社



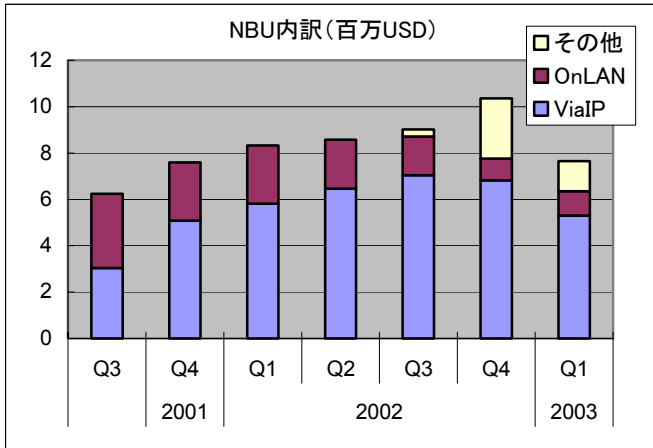
イスラエルラドビジョン社の第一四半期(2003 年 1 月-3 月)の収益は、1110 万 USD(約 12 億 9 千万円)を計上。当期純利益は、1 万 5 千 USD(約 174 万円)。前年同期は、1160 万 USD(約 13 億 45 百万円)、純利益は、27 万 2 千 USD(約 3155 万円)であった。

ただし、当期は営業損失を計上 55 万 1 千 USD(約 6,400 万円)であったが、特別利益 56 万 6 千 USD(約 6566 万円)があったためかろうじて当期純損失は免れた。前年同期でも同じく、営業損失 48 万 USD(約 5600 万円)を計上していたが、特別利益 75 万 2 千 USD(約 8700 万円)が発生したため、相殺され当期純利益を計上できた経緯がある。特別利益は、利息収入などと推測される。(未確認)

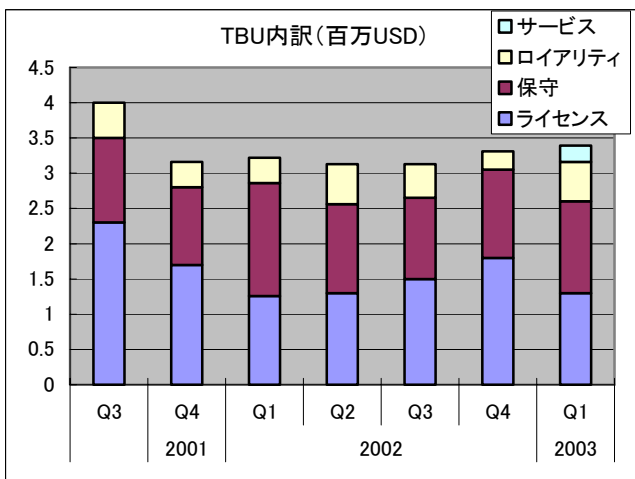
また、NBU(VialP などの MCU やゲートキーパーなど販売)と TBU(ツールキットの開発やライセンス販売等)の売



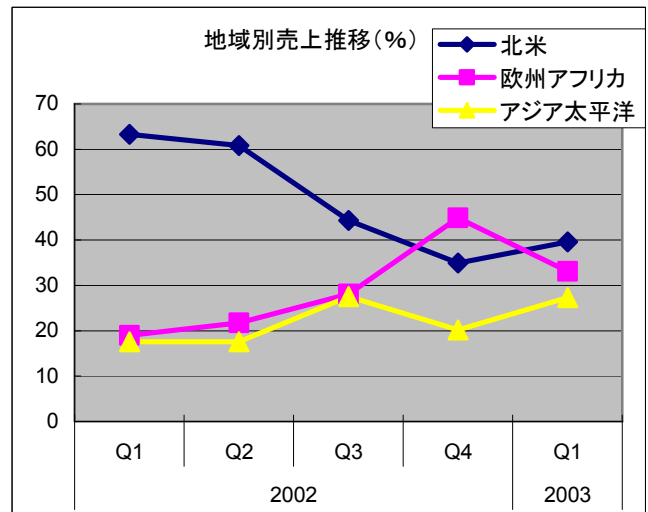
上げベースによる比率が上記のグラフになる。一環してNBU によるビジネスに収益の7割程度依存していることがわかる。内訳としては、VialP や OnLAN、その他となっているが、VialP の売上げが半数以上を占める。



また、下のグラフはTBU の売上構成を示すグラフで、ライセンスと保守メンテナンス関係による収益が多いことがわかる。日本市場は、TBU というよりはむしろ NBU のみ扱っており、TBU に対する顧客ニーズに対しては香港オフィスが対応する。また TBU 事業は景気の動向にあまり影響を受けないという。(CAN リポート Vol.5 No.3 同社 CTO エリ・ドオロン氏インタビュー参照)



さらに、地域別の売上ベースでみると、北米の比率が四半期ごとに下がってきているのがわかる。またそれに対して欧州アフリカ地域、アジア太平洋地域が拮抗してきている。



次回は、ウェブ会議系、多地点サービス系の業績発表を報告予定。

イベント情報

国内

■ビジネスショウ TOKYO 2003

日時: 2003年5月20日(火)~23日(金)
 会場: 東京ビックサイト
 主催: 社団法人日本経営協会・東京商工会議所
 * 「ビジュアルコミュニケーションコーナー」でのテレビ会議展示などあり。
 詳細: <http://bs.noma.or.jp/>

海外

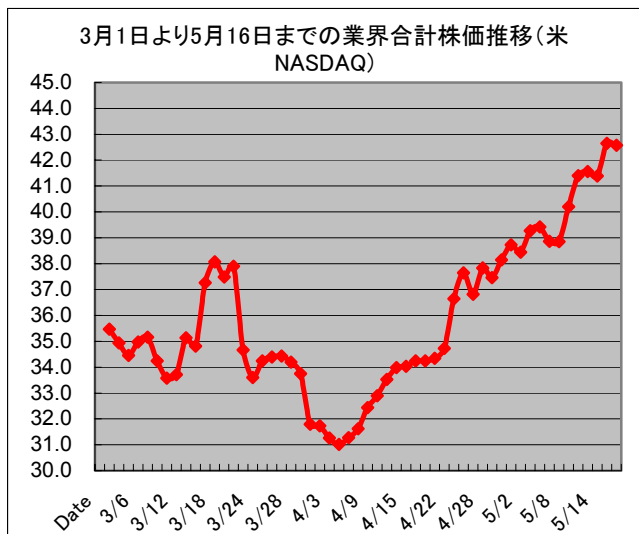
■ RADVISION Video Telephony Event- Milan 2003

日時: 2003年5月28日(水)~29日(木)
 会場: イタリア・ミラノ
 主催: ラドビジョン社
 * IP テレビ電話サービスを開始したイタリアの FASTWEB 社のサービス概要、デモ、同社訪問見学、ラドビジョン社 CEO,CTO などの講演
 詳細: +972-3-7679500 email EventsInt@radvision.com

■ InfoComm 2003

日時: 2003年5月31日(日)~6日(金)
 会場: アメリカ フロリダ州オーランド
 主催: International Communications Industries Association
 * 電話会議、テレビ会議関連のセミナーセッションもあり。
 詳細: <http://infocomm03.expoexchange.com/>

米国 Nasdaq コンファレンス株株価情報



Nasdaq 市場での業界関連株(10社)の合計株価の推移を今年2003年3月1日より5月16日までの推移をみたものが上記のグラフになる。4月4日を境に5月16日まで今のところ株価は上昇しつつある。

この最大の貢献株は、ポリコム社で、4.21ドル、その次はウェブックス社の2.79ドル、セントラ社の1.11ドル、そしてラドビジョン社の1.09ドルと続く。4社で9.20ドル株価を押し上げている。

コンファレンス関連企業 5月16日値動き(米現地時間)

企業名	終値	純変動額	前日比 (%)	出来高
ACT テレコンファレンシング*	1.79	▼ 0.10	▼ 5.29	30,700
セントラ	2.51	▲ 0.27	▲ 12.05	242,200
エゼニア	0.17	▲ 0.01	▲ 6.25	518,700
フォージェント	1.75	▼ 0.01	▼ 0.57	37,700
ファーストパーティクル	0.89	▲ 0.08	▲ 9.88	305,588
ゼネシスコンファレンシング*	2.44	▼ 0.27	▼ 9.96	115,125
ポリコム	12.76	▲ 0.26	▲ 2.08	2,808,744
レインダンス	2.67	▼ 0.27	▼ 9.18	407,458
ラドビジョン	6.35	▼ 0.01	▼ 0.14	16,900
ウェブックス	11.09	▼ 0.41	▼ 3.57	874,189
ワイヤーワン	2.60	▲ 0.10	▲ 4.00	77,400

CNA リポートバックナンバー

CNA リポートのバックナンバーは以下の URL からダウンロードできます。

http://www.hkeis.jp/cna_top.htm

ホームページドメイン変更について

CNA リポートのホームページのドメインですが、以前の“www.videoconference-forum.org”が廃止になり、今後は、<http://www.hkeis.jp>に変更になりますのでご注意ください。

現在すでに“www.videoconference-forum.org”のドメインは廃止になっていますのでエラーになります。

発行予定日の間違い

前回発行号(4月30日)に記載されていた次回発行予定日が、5月30日になっていました。誤りです。通常通り今号が発行されたとおり、5月中旬号も発行する予定でしたが、タイプミスでした。大変失礼しました。

取材先募集

CNA リポートでは、新しい製品(テレビ会議、電話会議、ウェブ会議関連)やサービス、または関連の利用事例などの取材先を募集します。(基本的に都内、東京近郊に限ります。)ご興味のある方はご一報ください。

連絡先: kay@hkeis.jp まで。

CNA Report

Conferencing News & Analysis

Independent & Unbiased Perspective
Since December, 1999
By Keisuke Hashimoto

CNA Report 編集長 橋本 啓介 kay@hkeis.jp

[TeleSpan](#) (米) コントリビューティング・エディタ ジャパン

[Videoconferencing Insight](#) (英) 日本担当通信員

<http://www.hkeis.jp>

(CNA Report Vol 5, No.9 2003年5月15日号終わり)

次回は、2003年5月30日を予定しております。

ご購入ありがとうございます。